

平成28年度第1回学力向上推進本部会議開催結果

義務教育課

- 1 日時 平成28年9月9日（金） 10:00～11:55
- 2 参加者 教育指導統括監、参事兼義務教育課長、各教育事務所長（6）、総合教育センター所長、関係課長（5）（以上委員）  
参事、学力向上推進室長、関係指導主事等（12）

3 会議内容等

- (1) 本県の重要課題である学力向上について取組状況及び方向性について協議した。  
また、協議事項を「提言」としてまとめ、9月30日付け、各市町村教育委員会教育長、各市町村立小中学校長及び各教育事務所長あて送付した。
- (2) 本年度が、学力向上主要施策「夢・にぬふぁ星プランⅢ」の推進最終年度にあたることから、次年度から推進する新たな施策について学力向上推進室で検討している旨、報告があった。

4 提言の内容

**「わかる授業」の構築を中核に、子供達に「確かな学力」を身に付けさせよう  
～沖縄県学力向上推進本部会議からの提言～**

平成28年9月30日

本年度は、学力向上主要施策「夢・にぬふぁ星プランⅢ－虹色・未来への架け橋－」の推進最終年度にあたることから、総括目標である子供達の学力を全国水準に高めることが達成できるよう、学校・家庭・地域・行政が連携した取組を推進しよう。

**1 「わかる授業」の構築を中核にした学力向上の推進**

- (1) 「めあて」「まとめ」「振り返り」を行う完結型授業の実践  
子供の視点による「めあて」を提示し、「めあて」と連動した「まとめ」「振り返り」を行う完結型授業を実践し、子供の主体的な学びを実現しよう。
- (2) 管理職による日々の授業観察とフィードバックの徹底  
管理職は、日々の授業を観察し、そのフィードバックを徹底することで、教師の授業力向上を支援しよう。
- (3) 学力向上Webシステムの効果的な活用  
教師は、調査問題実施後すみやかに処理し、分析結果に基づいた手立てを講じ、授業改善につなげよう。  
管理職は、学級・教科の格差が生じていないか、常に状況を把握しよう。

**2 集団づくりの充実**

- (1) 自治意識を高める児童・生徒会活動の充実  
子供の主体的な態度を育てることは問題解決能力の育成につながる。よりよい学校生活を築こうとする自治意識が高まるよう、児童・生徒会活動を充実しよう。
- (2) 支持的風土をつくる学級経営の充実  
子供が自分の考えや思いなどを安心して表現でき、理解し合い、共に考えることができる支持的風土が具現化できるよう、学級経営を充実しよう。

**3 部活動（スポーツ少年団等の活動も含む）の充実と適正化**

- (1) 活動の充実  
子供達に運動や文化等に親しみをもたせ、学習意欲、責任感、連帯感等を育成する観点から、加入率を高めるなど活動を充実しよう。
- (2) 活動時間の適正化と休養日の設定  
子供達の健全な成長を促進する観点から、活動時間を適正化し、休養日を適宜設定しよう。休養日は、毎月第3日曜日の「家庭の日」に加え、小学校は週3日以上、中学校は平日に週1日以上を基本に設定しよう。

**4 家庭教育力の促進【家庭との連携のもと推進】**

- (1) 規則正しい生活リズムの確立  
毎朝きちんと朝食をとり「食べて、動いて、よく寝よう」を実践し、規則正しい生活リズムを確立しよう。
- (2) 携帯電話・スマートフォン等の利用ルールの設定と遵守  
子供に携帯電話やスマートフォン等を利用させる場合は、安全なネットライフのために子供と一緒に利用上のルールを作り、親子で守ろう。
- (3) 夢実現「親のまなびあい」プログラムの実施  
家庭教育についての情報共有等を通して、保護者の学びや育ちを社会全体で支えるため、「親のまなびあい」プログラムを積極的に実施しよう。